

茨木六鳴館コンサート

アグスティン・バリオスと パラグアイの

音楽



入場無料



アグスティン・バリオス

2025 11.23 2025

OPEN 14:15 START 15:00

六鳴館 (大阪府茨木市元町1-10 アーカスデイズ茨木2階)

要予約



*お申込が定員を超えた
場合には入場をお断りし
ます。ご了承ください。

開催趣旨

2025年は、パラグアイ出身のギタリスト・作曲家アグスティン・バリオス・マンゴレ（1885-1944）の生誕140周年にあたる。さらには、1925年にホセ・アスンシオン・フローレスが生み出した、叙情的で哀愁に満ちたパラグアイの国民的音楽、グアラニアが誕生して100周年という記念すべき年でもある。

南米の中心に位置するパラグアイは、その文化的アイデンティティが音楽と深く結びついた国だ。そしてその民族音楽は、とりわけギターとアルパで奏でられる。本コンサートでは、バリオスとグアラニアの生誕を記念し、パラグアイの豊かで多様な音楽と文化を聴衆と分かち合う。

PROGRAM

- ♪ ギター・デュオ
・ パラグアイ舞曲
(アグスティン・バリオス)
- ♪ アルパ・ソロ
・ 遠いあなたへ
(マルティン・ポルティージョ)
・ 牛車の下で
(フェリクス・ベレス・カルドソ)
- ♪ ギター&アルパ
・ 君がいない夜
(デメトリオ・オルティス)
・ 鐘つき鳥
(フェリクス・ベレス・カルドソ)
- ♪ ギター・ソロ
・ イバラカラーの思い出
(デメトリオ・オルティス)
・ フリア・フロリダ
(アグスティン・バリオス) 他

【当日使用予定楽器】

ボルドン (アリエル・アメイヘンダ, 2019)、安保 (アリエル・アメイヘンダ, 2025)、小野 (エル・レイ, 2021)



ビクトル・ボルドン



小野華那子

お問い合わせ: ambo@fc.ritsumei.ac.jp

主催: 安保寛尚 (立命館大学) 後援: 茨木六弦堂、立命館大学国際言語文化研究所

登壇者プロフィール



安保寛尚（司会、通訳、ギター）

ギター弾きの立命館大学教授。ラテンアメリカ文学・ヴァナキュラー文化研究者。大学生時代にフォルクローレに憧れてクラシックギターを始め、近藤敏明氏、北口功氏に師事。キューバ、チリ、パラグアイ、ウルグアイのギタリストにもレッスンを受ける。スペイン語圏の文化紹介にクラシックギターを導入する試みを展開中。今年5月には浜松楽器博物館の企画展「海をわたった楽器たち ー多彩な文化の地 ラテンアメリカの旅」でミニコンサートを開催。



ビクトル・ボルドン（ギター）

アスンシオン国立大学教授。アスンシオン国立高等音楽院でアルフレド・ガレアノ氏に師事し、ダヴィッド・ラッセル氏やエドゥアルド・フェルナンデス氏らのマスタークラスを受講。国内外のコンクールで受賞歴があり、これまでにブラジル、アルゼンチン、ポリビア、ペルー、ウルグアイ、韓国などでもコンサートを開催。ギターソロのCDとしては「パラグアイのギター」と「チェ・ムバラカ・プ」を発表している。ギターデュオ・ボルダル（Dúo Bordial）でも活躍中。



小野華那子（アルパ）

青森県弘前市出身。本田宏彦氏、Chucho de Mexico氏、敏子・根津・Sandoval氏に師事。2013年に全日本アルパコンクールで準優勝、国際交流協会賞・千葉日報社賞を受賞し、翌年パラグアイへ留学。現在は東京を拠点に全国各地で演奏活動を行い、弘前大学特別講師も務める。これまでNBFビル、ランチタイムコンサートでの演奏、佐藤竹善や谷村新司との共演があるほか、JR函館新幹線開通による誘致用公式観光PV、劇版音楽、SOMPOジャパンヘルスケアアプリなどにオリジナル楽曲の提供も行うなど、活動の幅を広げている。



六鳴館

（大阪府茨木市元町1-10 アークスデイズ茨木2階）



阪急鉄京都線「茨木市駅」西出口から徒歩約2分。中央通りを茨木市役所方面に直進、進行方向右手に「東本願寺別院」を過ぎて交差点を渡り右手2軒目のビルの2階。1階は時計と眼鏡の「白金堂」さん。